

# 会 報

2020年12月1日発行

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部  
事務局連絡先 Phone : 080-9495-8566 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)  
支部長 : 山之上誠 事務局長 : 岩田良明 会計 : 鈴木敏弘 広報 : 関根洋子

## 上半期を振り返って

支部長の山之上です。日頃から静岡県支部の運営にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。今年、2月末の例会を最後に行事の中止が余儀なくされました。愛知での全国大会が開催中止・延期になったことは主催者にとっては誠に遺憾であったと推測します。県支部では、8月22日に久しぶりの例会と合格者説明会を開催することができました。行事はweb講演会やzoom会議などが主流になって現在に至っています。

コロナ禍では3密を回避するためにオンライン形式などが主流となり、生活様式にも変化が起こっています。交通経費や時間削減などメリットは分かりました。一方で、リアルな環境でないことに戸惑いつつも、逆に、発言がしやすくなると思われる方にとってはメリットになるかもしれません。

今年度は、今のところ、防災活動に関する行事が主たる活動実績になります。当支部は、静岡県災害対策士業連絡会（以下 連絡会）や行政との災害協定を締結しています。連絡会では昨年の台風19号の被災者支援相談会を経験し、さらなる活動のため施策を検討しており、県支部としても被災者支援にどう対応するかを提案しています。静岡県地震防災センター（以下 センター）において、8月22日、防災・減災ワークショップに会員7人が参加しました。いつ来るか分からない災害のためにも防災支援委員は欠かせません。県支部としても防災支援に思いのある方を求めています。

次に、合格者説明会についてです。県支部の事業として毎年一次、二次試験の合格者の方に説明会を開催しています。目的は、会員になっていただくために、合格者の方には日本技術士会の活動について理解をしていただく機会と捉えています。

私ごとですが、1995年の春に建設部門で登録し、名古屋市での説明会に出席しました。関係者を含めて50名近い方が立席での交流会でした。当時は静岡県技術士協会（以下 協会）の活動が活発で入会するなら「協会で十分だよ」という先輩の助言もあり、特に考えず協会に入会して今に至ります。

協会時代には先輩をお願いして会社の営業活動にも活かしました。会社も技術士を増やすべく時代の波もありました。合格者の方には、人脈を築くなどメリットは限りなくあると考えてよいと思います。

最後に、県支部は内から外への発信になるような施策を事業方針でも打ち出しています。社会に対して個々の能力を結集して継続できる団体であるべきと思います。今現在、未入会の方には現役という理由だけではなく会社とは別に居場所のひとつとすることを推奨します。ご入会をお待ちしております。

静岡県支部長 山之上 誠

# 静岡県地震防災センターでの防災・減災ワークショップ

## 1. はじめに

例年、静岡県地震防災センター主催の「こども地震防災教室」へ参加して参りましたが、リニューアルオープン工事のため残念ながら昨年は中止になりました。本年は6月に再オープンした同センターであります。多くの方が訪れて頂くことを期待していましたが、コロナ禍の中、予約制による人数制限を強いられてしまいました。よって、従来通りの開催は中止を余儀なくされたため、(公財)中部科学技術センター中部サイエンスネットワーク主催の「防災・減災ワークショップ」が行われました。

なお、開催日時は以下のようでした。

開催日：2020年8月22日(土)  
13:30～16:30

参加費：無料  
参加者数：52名(こども30名、おとな22名)

## 2. イベント内容

右記、案内紙のように防災・減災をテーマにしたイベントであります。「ものづくり」がメッカである中部地域の将来を支えるこどもたちが理科や算数を面白いものと興味・関心を持ってもらうことをねらいとしたものです。身の回りにある“かがく”の面白さ、不思議さを子供たちに気づいてもらうことをこのような交流会を通して実施するもので、技術士会の姿勢や目指すものに共通する部分が多いのではないのでしょうか。特に今回は、“かがく”が役に立っている防災・減災活動に関わる人同士のネットワークを広げることと地域の特色・取り組みを知ることがこのワークショップのテーマです。



プログラムとしては、以下のようです。

### 第一部：聞いて学ぼう（自然・知識を学ぶ）

- ・日本や世界で起こっている自然災害のはなし（東北大学災害科学国際研究所 安田真理）
- ・静岡県の自然災害のはなし

（静岡大学 原田賢治准教授）

### 第二部：体験して遊ぼう

・静岡県地震防災センターの展示ゾーンを利用してクイズ付きスタンプラリーと共に各ブースでの技術士会中部本部静岡県支部会員がパフォーマンスを繰り広げました。

### 第三部：みんなでシェアしよう

・スタンプラリーでのクイズをもとに振り返りをまとめ、安田先生をファシリテーターとしたグループ毎の話し合いと発表により「防砂・減災について」子どもたちの理解を深めました。また、参加した子どもへのアンケートを行いフォローアップすることにより防災意識を子どもたちに根付かせることを期待しています。

また、静岡大学の学生や中部電力の方々ボランティアによる援助により運営されました。



写真-1. 第一部の保田先生のはなし



写真-2. 第二部：スタンプラリー

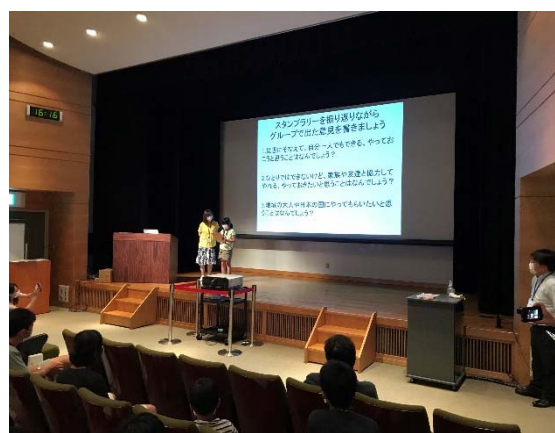


写真-3. 第三部：グループ発表

### 3. 静岡県支部会員によるパフォーマンス

第二部の体験して遊ぼうでは、同センターの展示物を利用した自然災害の学びや防災グッズの紹介を行いました。

- a) 地震のメカニズム（ミニ液状化実験装置「エッキー」：上原央会員「建設」）



写真-4. 液状化を学ぶ

b) 自主防災組織を知ろう（家族で学ぶ災害Q&A：山之上誠支部長「建設」）



写真-5. 自主防災を学ぶ

d) 火山災害を学ぶ（富士山噴火ハザード：角入一典会員「建設」）



写真-8. 富士山噴火災害を学ぶ

c) 災害時の生活を考えよう（簡易防災グッズつくりと電池の寿命延長対処法：吉田健彦会員「経営工学」、馬淵大機会員「建設」）



写真-6, 7. 災害時の生活を学ぶ

e) 河川ハザードマップを見てみよう（ハザードマップの見方：森竹俊之会員「建設」）



写真-9. ハザードマップの見方

以上5つの展示ブースで自然災害のメカニズムや防災・減災で重要視されてきた自然災害ハザードマップの利用法及び被災に備えた日頃の生活での留意点を子どもたちに伝えました。子どもたちより父兄の方々の方が興味津々であったという感想を持ちました。

#### 4. おわりに

例年、静岡県地震防災センターの夏のイベントとする「こども防災教室」も「With-Corona」の新しい生活様式の一環として、変

化をしました。2021年度も同様な組織での企画開催であるか不明ですが、技術士会活動の大きな柱である社会貢献での防災教育はどのような場面でも必要とされる継続すべき活動であります。

また、このような理科教育をはじめ、防災教育は、教育委員会、小学校、地域または静岡県のような行政との連携が必要と考えられます。このような機会を頂きましたことをこの場をお借りして「静岡県地震防災センター」様にはお礼を申し上げます。



写真-10. イベント受付への会員の参加

<追記>

今回は、技術士会中部本部静岡県支部の防災委員会で作成した「ビブス（上記写真）」を使用しました。災害支援活動において、「組織」と「役割」を示し、混乱した場面で見分けができるアイテムとして準備しています。他の防災支援活動でもこれから使用してゆく予定です。

なお、翌日「静岡新聞 朝刊」に本イベントの記事が掲載されました（写真-11 参照）。喜ばしいことに我が技術士会の角入会委員による「富士山噴火ハザード（プロジェクトマッピング使用）の説明」の様



写真-11. 静岡新聞記事

子が掲載されました。多くの方がご覧になったことを考えれば、少しずつ社会での「技術士」の認知が高まることに今後も期待したいと思います。

技術士会中部本部静岡県支部では、「防災支援員」を募集しております。気軽に防災支援にあなたの技術を生かしませんか？また、技術士会で理科支援・防災支援に共に技術を通して社会貢献を行いましょう。

以上

（文責：防災委員 柴田達哉）

## コロナ禍での CPD 例会

技術士会では、技術士の方々の自己研鑽(CPD)の機会提供を主要な活動と位置づけ、例会を運営しています。

2019 年末より、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染が世界に拡大し、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、各所において様々な活動、イベントが中止や延期となりました。

当支部においても、対面による講演や講師との自由な交流を提供してきた例会活動は、中止や延期を余儀なくされました。本部より基本方針がでたものの具体的に何をやればよいか分からず、半年間は休眠状態でした。

夏の役員会で、県支部として何ができるか検討いただき、今年度の例会は Zoom による WEB 講演会として開催する事としました。オンライン講演会については、Zoom が適切か、セキュリティは大丈夫か、対応できる講師がいるかなど、様々な意見がありましたが、まずやってみて、不具合なら改善すればよいとの考えで進めることとしました。

幸い、対面式の講演をお願いしていた講師の方が快く引受けていただき、9 月より WEB 講演会として再開できました。オンラインの講演会は参加しやすいとの声が聞かれる反面、交流会がなくて残念という意見や、対応できない会員もいらっしゃると思います。できるだけ早く、対面式の例会に戻したいと考えています。

WEB 講演会開催に際し、ご指導、ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

### ① 第 1 回例会 (WEB 講演会)

<日時> 2020 年 9 月 26 日 (土)

<会場> Zoom による WEB 講演会

講演：「製品開発とイノベーション」

講師：Akira データ経営研究所

代表 長谷 彰 氏

参加者：講演会 40 名

### ② 第 2 回例会 (WEB 講演会)

<日時> 2020 年 10 月 24 日 (土)

講演：「浙江省国際ビジネスマッチング大会  
出席報告」

講師：日本技術士会 加藤 信之 会員  
技術士 (電気電子部門)

参加者：講演会 33 名 交流会 11 名

### ③ 第 3 回例会 (WEB 講演会) (予定)

<日時> 2020 年 11 月 28 日 (土)

講演 I：「MaaS は人々の移動や社会をどう変えるか：実証実験を 1 年試した今考える」

講師：東京大学 生産技術研究所特任教授  
伊藤 昌毅 氏

講演 II：「VIRTUAL SHIZUOKA が拓く未来のまちづくり」

講師：静岡県 建設技術企画課

杉本 直也 氏

### ④ 第 4 回例会 (WEB 講演会) (予定)

<日時> 2021 年 1 月 16 日 (土)

講演：「チャ害虫の総合的管理体系と日本茶の輸出促進戦略 (仮)」

### ⑤ 第 5 回例会 (WEB 講演会) (予定)

<日時> 2021 年 2 月 20 日 (土)

講演：「安倍川及び大井川の治水の歴史と災害対策 (仮)」

### ⑥ 第 6 回例会 (WEB 講演会) (予定)

<日時> 2021 年 3 月 13 日 (土)

講演：交渉中

以上

(CPD 委員：牧野好秀)

## お知らせ

### ■今後の行事予定

名 称	月 日	時 間	場 所	内 容
静岡県支部役員会(臨時)	2021年1月16日(土)	10:00~12:00	WEB	
静岡県第4回支部例会	2021年1月16日(土)	15:10~16:40	WEB	「チャ害虫の総合的管理体系と日本茶の輸出促進戦略(仮)」
静岡県支部役員会	2021年2月20日(土)	10:00~12:00	WEB	
静岡県第5回支部例会	2021年2月20日(土)	13:30~16:30	WEB	「安倍川及び大井川の治水の歴史と災害対策(仮)」
静岡県第6回支部例会	2021年3月13日(土)	13:30~16:30	WEB	講演内容調整中
静岡県支部役員会	2021年5月15日	13:00~14:30	市内	
静岡県支部合格者説明会	2021年5月15日	10:00~12:00	市内	
静岡県支部年次総会(案)	2021年6月12日	13:30~16:30	市内	AM 中部本部役員会(案)

※今後の例会につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら順次開催してまいります。例会・役員会についてはWEB開催としておりますが新型コロナウイルス感染症の状況により会議室での開催に変更致します。

※会員の方には、メーリングリストにて、随時行事の案内をお知らせいたします。



公益社団法人 **日本技術士会**  
The Institution of Professional Engineers, Japan

中部本部 静岡県支部

---

事務局：〒421-0217 静岡県焼津市上泉 707-27

TEL : 080-9495-8566 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)

<http://ipej-shizu.sakura.ne.jp>